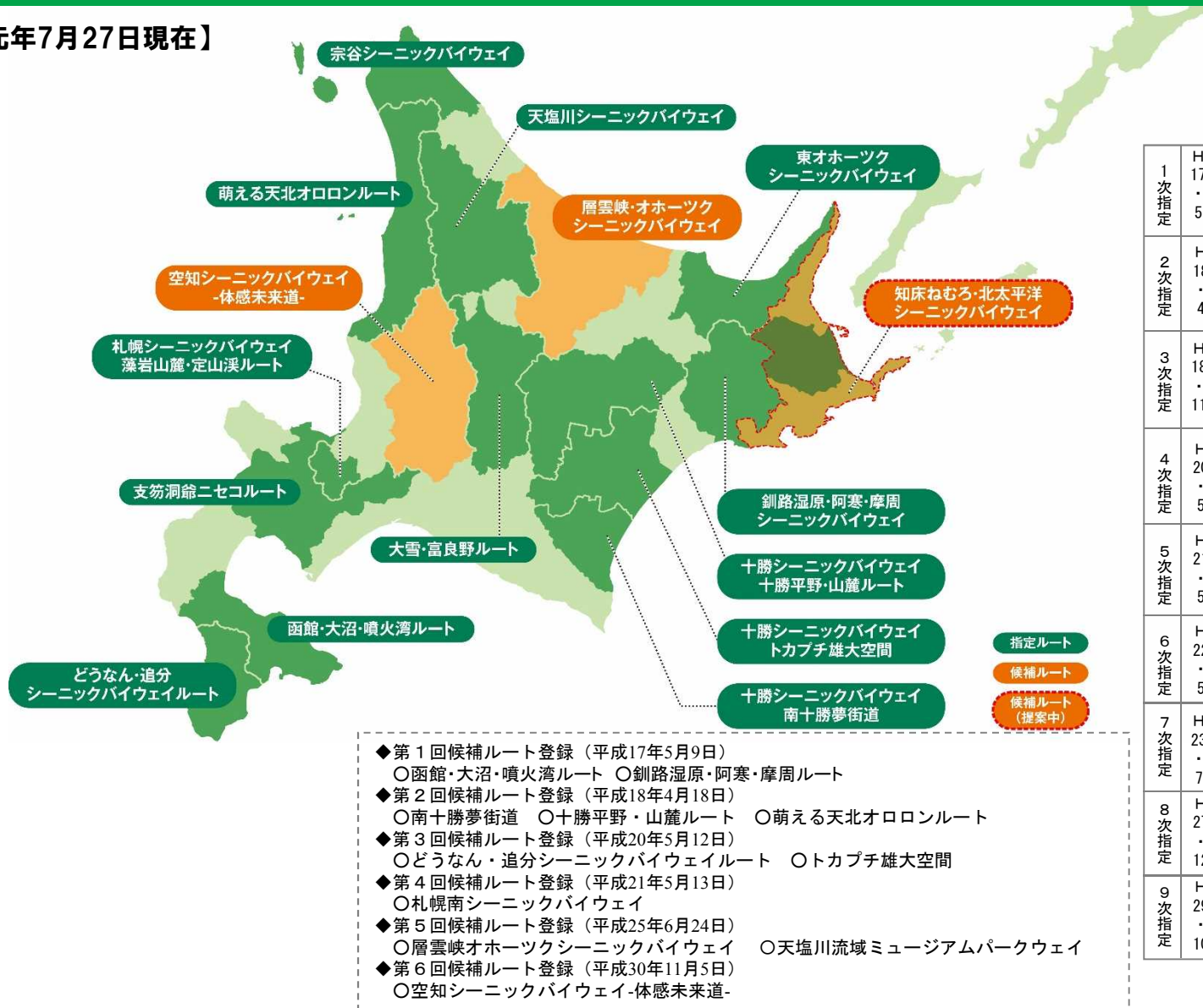


シーニックバイウェイ北海道の提案ルート

資料1-1

【令和元年7月27日現在】



1次指定	H17・5	3ルート	●支笏洞爺ニセコルート ●大雪・富良野ルート ●東オホーツクシーニックバイウェイ
2次指定	H18・4	1ルート	●宗谷シーニックバイウェイ
3次指定	H18・11	2ルート	●釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ ●函館・大沼・噴火湾ルート
4次指定	H20・5	1ルート	●萌える天北オロロンルート
5次指定	H21・5	1ルート	●十勝平野・山麓ルート
6次指定	H22・5	1ルート	●トカプチ雄大空間
7次指定	H23・7	2ルート	●札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート ●南十勝夢街道
8次指定	H27・12	1ルート	●どうなん・追分シーニックバイウェイルート
9次指定	H29・10	1ルート	●天塩川シーニックバイウェイ

ルート名称	代表者名	代表者の所属	構成団体数	関係市町村数
知床ねむろ・北太平洋 シーニックバイウェイ	遠藤 修一 えんどう しゅういち	大地みらい信用金庫	24	8

様式 1 - 1

シーニックバイウエイルート提案書

平成 3 1 年 4 月 3 日

シーニックバイウエイ北海道推進協議会長 殿

知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウエイ
 ルート運営代表者会議
 代表 遠藤 修一 印



以下のとおり、シーニックバイウエイルートの提案を行います。

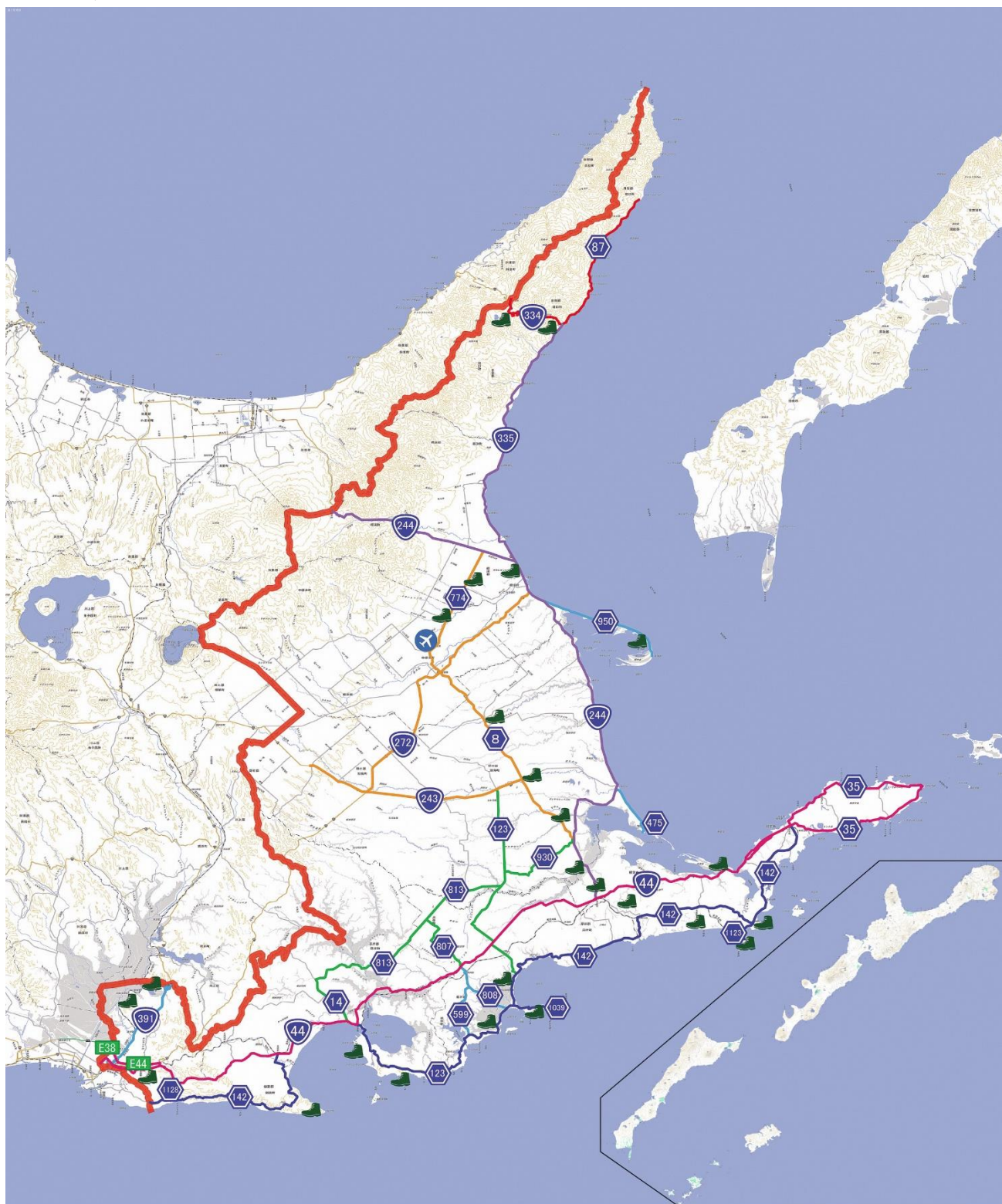
記

代表者名	遠藤 修一	
代表者の所属	大地みらい信用金庫	
代表者の住所	〒087-8650 根室市梅ヶ枝町3丁目15番地	
代表者の連絡先	電話 0153-24-4105	FAX 0153-24-2801
担当者名※	伊藤 泰通	
担当者の所属※	有限会社 伊藤畜産	
担当者の住所※	〒086-0061 根室市明郷101番地	
担当者の連絡先※	電話 0153-26-2181	FAX 0153-26-2141
ルート名	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウエイ	
構成団体数	24団体	
関係市町村名	羅臼町、標津町、中標津町、別海町、根室市、浜中町、厚岸町、釧路町	
※ルート運営活動計画とは別に、基幹となるルートが明示された参考図（様式1-2）を添付してください。	計（ 8 ）市町村	
提案の種類	☐ シーニックバイウエイルート	☒ シーニックバイウエイ候補ルート
必要書類	☐ ルート運営活動計画 ☐ 関係市町村長の意見 ☐ 候補ルート登録時における付帯意見の対応表	☒ ルート運営活動計画の骨子
備考		

※代表者以外が連絡窓口となる場合には、担当者名の氏名・住所・連絡先もご記入ください。

以上

■ ルート図



国土地理院の地理院地図

■ 主なルート

	ルート名		ルート名
	国道 44 号、道道 35 号 (釧路外環状道路、根室道路)		国道 391 号、道道 475 号、599 号、808 号、950 号
	道道 123 号、142 号、1039 号、1123 号		国道 243 号、272 号、道道 8 号
	国道 244 号、335 号		道道 14 号、221 号、807 号、813 号、930 号 1128 号
	国道 334 号、道道 87 号		歩く道 (フットパス・散策路)

■ その他

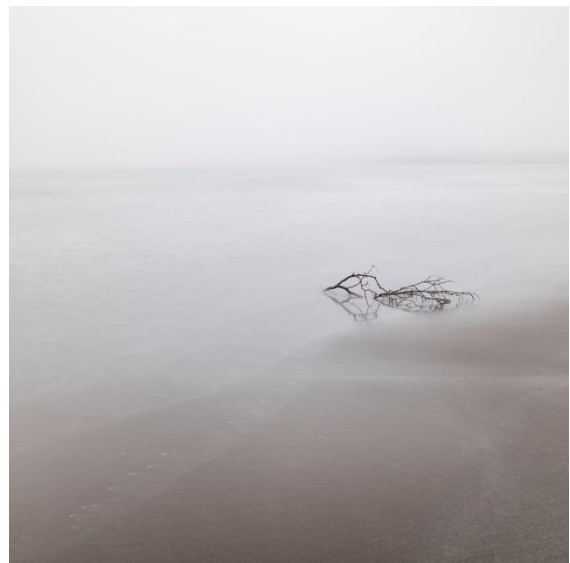
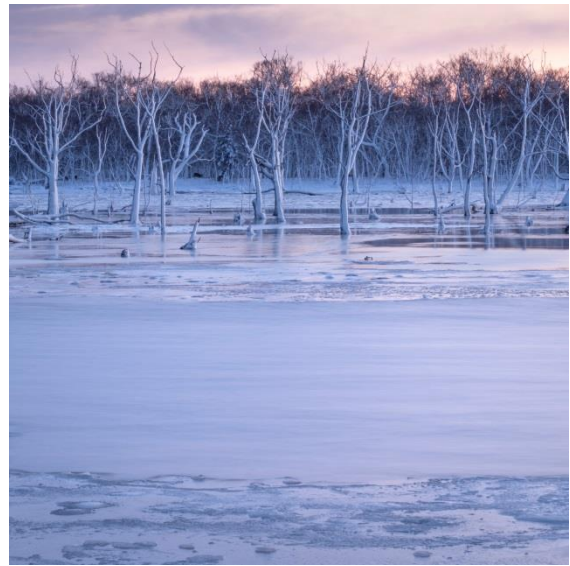
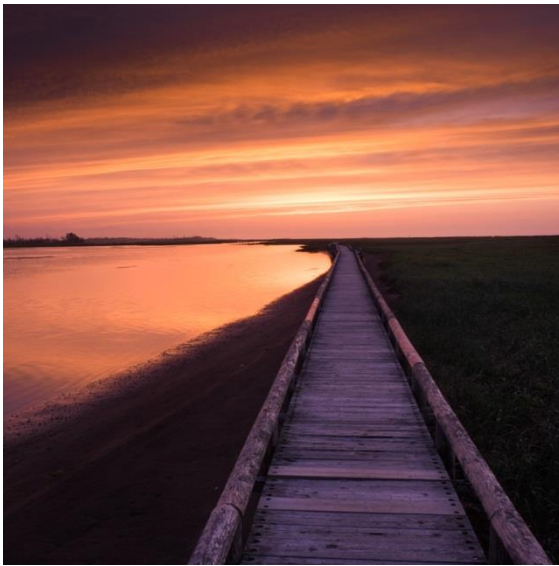
- ・ 周辺の道道及び市町道、農道など

シーニックバイウェイ 候補ルート

知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ Far East Hokkaido Scenic Byway

～ 世界中のトラベラーを癒やす、最果ての自然と美食の絶景海道 ～

ルート運営活動計画骨子



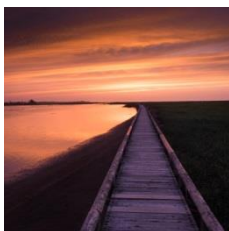
2019年4月

知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ ルート運営代表者会議

目次

第1章 ルートの概要.....	1
1. 地理的範囲・ルート	1
2. ルートの概要.....	4
3. 構成自治体と構成ルート	5
4. ルートの特性と課題	7
1) ルートの特性	7
2) ルートの課題	12
5. 地域資源.....	13
第2章 ルートの名称と活動の方向性	16
1. ルートの名称とテーマ	16
2. ルート活動の方向性.....	18
第3章 ルートの運営体制.....	19
1. ルート活動体制	19
2. ルートの活動団体	20
第4章 ルートの活動計画（案）	26
1. これまでの活動経過.....	26
2. 今後の活動予定（案）	28

<表紙の写真について>



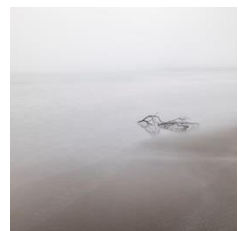
春国岱の夕暮れ



野付半島のナラワラ



根室フットパス

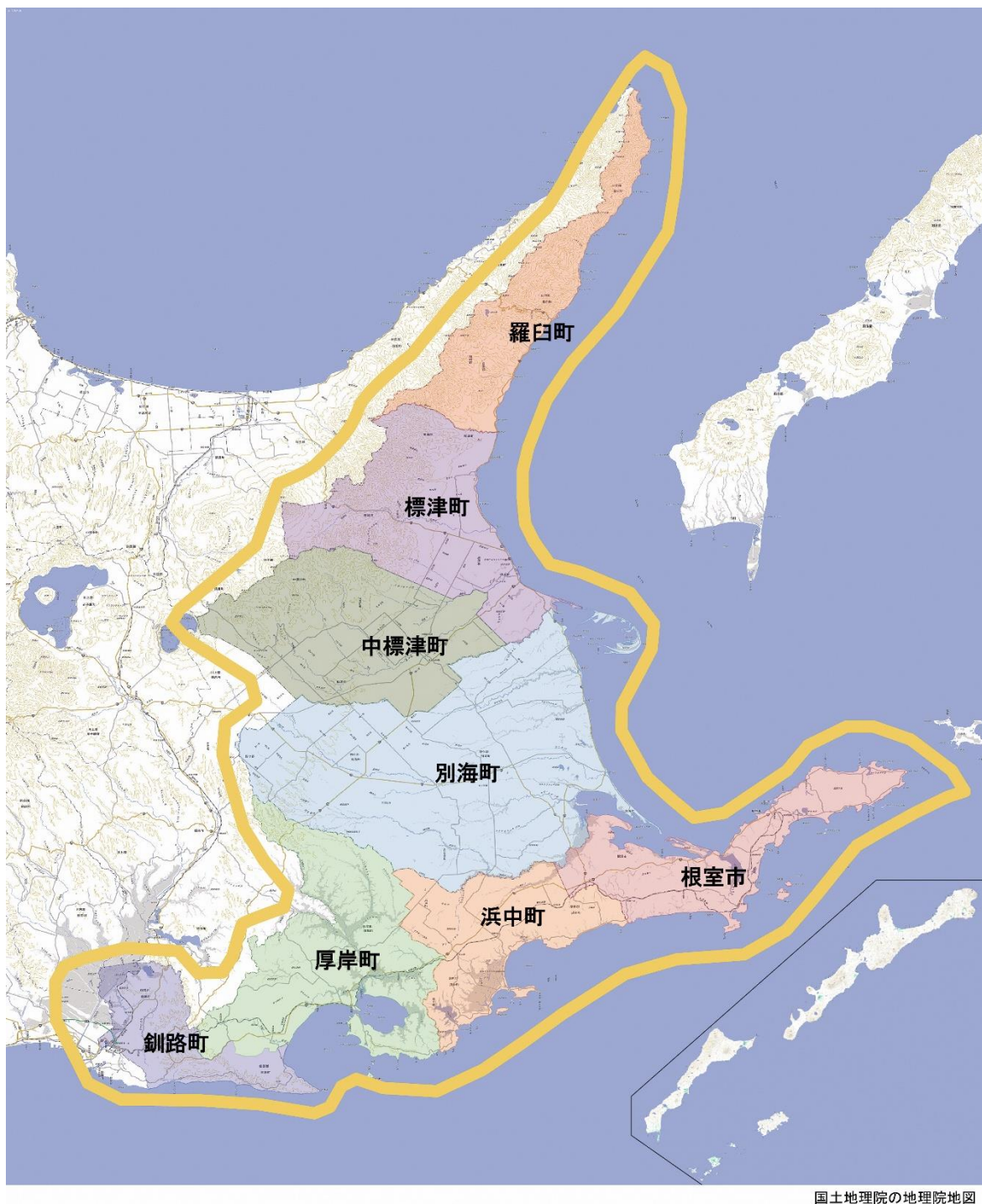


海霧（ジリ）の落石海岸

第1章 ルートの概要

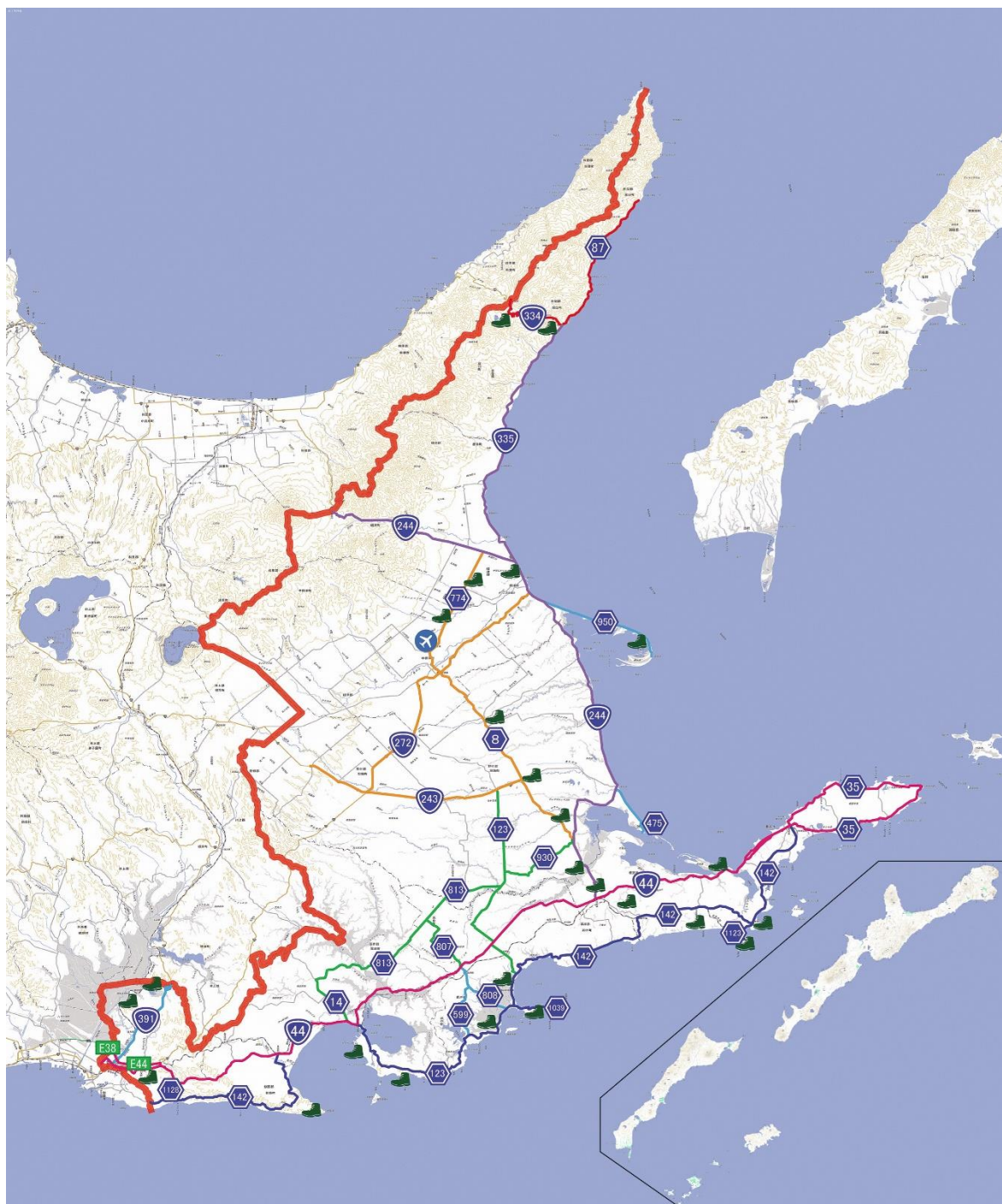
1. 地理的範囲・ルート

■道内における位置・範囲



当ルートは、日本の最東端に位置する、羅臼町、標津町、中標津町、別海町、根室市、浜中町、厚岸町、釧路町で構成されており、エリアを縁取ると「野鳥の聖地」と言われる当地に相応しく、鳥のカタチが浮かび上がります。

■ ルート



国土地理院の地理院地図

■主なルート

	ルート名	ルートの特徴
	国道 44 号、道道 35 号 (釧路外環状道路、根室道路)	本土最東端、納沙布岬を目指す
	道道 123 号、142 号、1039 号、 1123 号	日本屈指の絶景海道、北太平洋シーサイドライン
	国道 244 号、335 号	北方領土を望む海岸線
	国道 334 号、道道 87 号	世界自然遺産知床を満喫
	国道 391 号、道道 475 号、599 号、 808 号、950 号	ラムサール条約登録湿地を満喫
	国道 243 号、272 号、道道 8 号	根釧台地の開拓者魂や近代遺産に触れる
	道道 14 号、221 号、807 号、 813 号、930 号 1128 号	根釧台地の広大な酪農景観
	歩く道 (フットパス・散策路)	広い空、美味しい空気、田んぼも畑もない世界

■その他

- ・周辺の道道及び市町道、農道など



国道 334 号知床峠より、国後島を望む

2. ルートの概要

当該エリアは、現在日本人が行くことのできる日本の東の果ての地です。世界自然遺産の知床をはじめ、釧路湿原、厚岸湖・別寒辺牛湿原、霧多布湿原、風蓮湖・春国岱、野付半島・野付湾といった5つのラムサール条約登録湿地など、世界に認められた自然が残り、他の地域にはない独特の景観を生みだしています。野生動植物の宝庫でもあります。

夏は冷涼で過ごしやすく、冬は厳しいながら流水や四角い太陽など、この土地ならではの特別な自然現象を見ることができます。

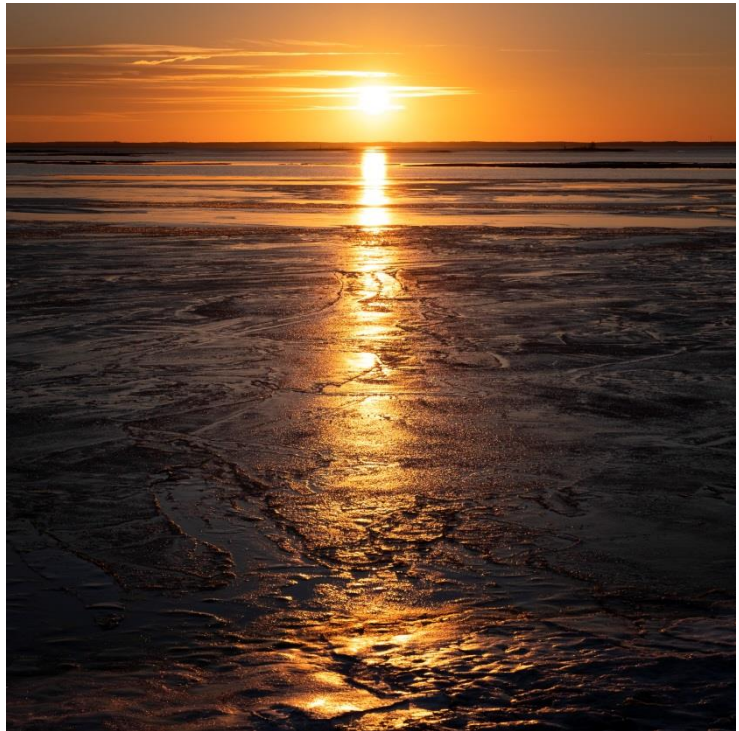
そして、なにより北方領土が目と鼻の先にあり、実際に北方領土をこの目で見ることは、この地だけです。

また、水産業や酪農業が大変盛んな地域です。豊かな海がもたらす新鮮で美味しい魚介類、広大な牧草地で育まれたチーズやミルクといった乳製品には、誰もが舌鼓を打つことでしょう。

明瞭な四季、豊かな自然、アイヌ民族や戦争の歴史・文化、美味しい食など、当地は世界的にみても極めて魅力的な観光資源に恵まれています。ここを訪れていたでくことで、本当の北海道を知る、そんな可能性を大いに秘めています。

当ルートは国道44号、国道243号、国道244号、国道272号、国道335号や北太平洋シーサイドラインを中心としてさまざまな魅力あふれる道が通っており、オホーツク地域や阿寒・摩周国立公園などとも隣接しているため、広域観光としての広がりも期待されます。

羅臼町、標津町、中標津町、別海町、根室市、浜中町、厚岸町、釧路町で構成される当ルートでは、フットパスやネイチャーガイド、NPO法人等の関係団体が、あふれる自然の保護や景観を生かした観光事業に積極的に取り組んでいます。今後はシーニックバイウェイの制度のもと「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」をさらに推進していきます。



結氷の始まった野付湾に沈む夕日

3. 構成自治体と構成ルート

	概 要		構成ルート
羅臼町 	世界自然遺産「知床」を形成する町。目の前に広がる「魚の城下町」と言われるほど豊かな海は、シャチやクジラウォッチングの聖地。 知床半島では、貴重な自然を体験するだけでなく温泉や海産物の食を満喫することができる。	人口：5,066 人 (2018/11 末) 面積：397.72 km²	【メインルート】 国道 334 号、335 号 道道 87 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 羅臼湖トレッキングコース、羅臼温泉園地歩道、望郷の森タチニトレイル
標津町 	知床連山のふもとで知床半島と野付半島に抱かれるように広がっている町。 漁業と酪農が盛んで広大な自然が広がることなどから「日本で最も美しい村」連合に加盟しており、歴史的にも古くから人が住み遺跡も多く存在し、アイヌ文化の継承なども盛んである。	人口：5,277 人 (2018/11 末) 面積：624.68 km²	【メインルート】 国道 244 号、335 号 道道 774 号、950 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 標津線路跡フットパス、ポー川史跡自然公園木道 【その他】 旧標津線
中標津町 	開陽台から 330° 見渡せる地平線と格子状防風林。 どこまでもまっすぐに続く道と雄大な酪農風景を存分に実感できる町。 町の発展に大きな役割を果たした鉄道遺産をはじめ開拓の歴史も知ることができる。	人口：23,499 人 (2018/11 末) 面積：684.87 km²	【メインルート】 国道 272 号 道道 8 号、774 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 上武佐フットパス、丸山公園 【その他】 旧標津線、殖民軌道跡
別海町 	生乳生産量日本一を誇る酪農王国であり、「格子状防風林」に囲まれる地平線まで広がる雄大な酪農風景がある。 また、ラムサール条約登録湿地「野付半島・野付湾」など世界的にも貴重な自然に恵まれ、その海域では北海道遺産にも登録される「打瀬舟」によるホッカイシマエビ漁の光景も見ることができる。	人口：14,856 人 (2018/11 末) 面積：1,320.23 km²	【メインルート】 国道 243 号、244 号、272 号 道道 8 号、123 号、363 号、364 号、475 号、930 号、950 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 別海町フットパス、野付半島木道 【その他】 旧標津線、別海村営軌道跡 奥行臼駅通所

	概 要		構成ルート
根室市 	太平洋とオホーツク海に面し、日本本土最東端に位置する。水揚げ日本一の「サンマ」や「花咲ガニ」など豊かな漁場を持つ。 また、ラムサール条約に登録される「風蓮湖・春国岱」など自然も豊かで、野鳥の楽園としても知られている。	人口：25,947 人 (2018/11 末) 面積：506.25 km²	【メインルート】 国道 44 号、243 号、道道 35 号、142 号、1123 号、1127 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 厚床パス、明郷パス、初田牛パス、別当賀パス、おちいし岬パス、浜松パス、春国岱木道、東梅自然学習林 【その他】 花咲線、根室拓殖鉄道跡
浜中町 	漁業・酪農業を中心とした町で、国内有数の生産量を誇る昆布や良質な牛乳などを生産している。特に牛乳は「ハーゲンダッツアイスクリーム」の原料に使用されるほど高品質。ラムサール条約や北海道遺産に登録される「霧多布湿原」は海岸段丘や森林を含む湿原景観を一望できる。	人口：5,871 人 (2018/11 末) 面積：423.63 km²	【メインルート】 国道 44 号 道道 123 号、142 号、599 号、807 号、808 号、813 号、1039 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 ヤチボウズ木道、琵琶瀬木道、奥琵琶瀬木道、仲の浜木道 霧多布岬 【その他】 花咲線、浜中町営軌道跡
厚岸町 	ラムサール条約に登録される「厚岸湖・別寒辺牛湿原」があり、その周囲から流れこむ豊かな栄養により育まれる「カキ」は全国的に有名である。	人口：9,415 人 (2018/11 末) 面積：739.26 km²	【メインルート】 国道 44 号 道道 14 号、123 号、221 号、813 号、1128 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 原生花園あやめヶ原、愛冠岬 【その他】 花咲線
釧路町 	ラムサール条約に登録される「釧路湿原」と太平洋に囲まれた自然豊かな町。釧路湿原を一望できる細岡展望台や、変化に富んだ景観が続く太平洋沿岸など個性的な観光資源がある。	人口：19,792 人 (2018/11 末) 面積：254.15 km²	【メインルート】 国道 44 号、391 号 道道 142 号、1128 号 【歩く道（フットパス・散策路）】 細岡展望台、夢ヶ丘達古武歩道 別保森林公園、尻羽岬 【その他】 花咲線、釧網本線

4. ルートの特性と課題

1) ルートの特性

◆景観

根室海峡を挟んで北方領土を望む地域。海峡独特の地形や多様な湿地がもたらす豊富な漁業資源を求め、先人たちが古くからこの地で暮らしを築いてきました。

彼らは、時折厳しさを見せる自然と共存する独自の文化を形成するとともに、他に類を見ない雄大な自然の姿を残してくれました。

田んぼも畑もない世界。高い木がなく、しばしば霧に覆われる海岸線。どこまでも続く広大な牧草地。ここは日本にいながら、まるでスコットランドやフランスのブルターニュ地方など、ヨーロッパにでも来たような風景を見せてくれます。



スコットランドの海岸線を彷彿させるノッカマップ岬

◆自然

世界自然遺産・知床国立公園やラムサール条約登録湿地である釧路湿原、別寒辺牛湿原、霧多布湿原、風蓮湖・春国岱、野付半島といった様々なタイプの湿地や湿原があります。内陸の根釧台地には山から海へとつながる蛇行する川の淵に広大な牧草地と原野があるなど、エリア全体に多様で特異な自然環境が広がっています。

動物では、豊かな海の根室海峡に餌をもとめやってくるシャチや鯨類、冬には流氷と共にやってくるアザラシ類やトドがいます。知



羅臼沖の流氷と知床連山

床半島は多くのヒグマが生息しているエリアです。

野鳥では、日本で見られる野鳥の6割を超える種類が確認され、オオワシやシマフクロウ、ケイマフリ、エトピリカなど極東や北海道でもこのエリアでしか見られない種類も多くいます。

植物では、海流が織りなす冷涼な気候から、氷河期の遺存種で日本では根室市の落石岬でしか見られないサカイツツジや本州においては1,500m級でしか見られないマイヅルソウやハクサンチドリなどの亜高山帯から高山帯の植物が低地にあるなど特異な植生も多く見られます。

また、夏は20℃前後と過ごしやすく、北太平洋高気圧から吹き出す比較的暖かく湿った空気が、寒冷な親潮の影響を受けて海霧が発生し、深い霧が内陸にまで押し寄せ幻想的な風景がよ

く見られます。冬は雪が比較的少ないものの寒さは厳しく、四角い太陽など独特の自然現象も見ることができます。

◆歴史

根室海峡沿岸地域は人々が定住した縄文時代以降、独自の文化や社会を形成してきました。自然と共生し、あらゆるものを神（カムイ）が宿るとする先住民族アイヌの文化を脈々と受け継ぐ一方で、蝦夷地の交易・開拓による軋轢からアイヌへの敬意を忘れ「クナシリ・メナシの戦い」を代表として多くの犠牲者を生んでいます。現在あるノッカマップやポー川史跡ではそ



北方領土返還祈念シンボル像「四島のかけ橋」

の歴史の息吹を感じることができます。

先住民族アイヌ・和人・ロシア人との交流と衝突が繰り返し行われた当地では、サケ漁を初めとした水産業が栄え、北海道の交易の中心となりました。根室の金刀比羅神社を筆頭に漁業の守護神を祀る文化は今も地域に根付いています。

明治・大正以降は入植者による開拓が進み、殖民軌道網（馬やガソリンカーが運行する簡易鉄道）が大きな役割を担い

ます。酪農業が普及し、根釧台地の開拓が進められ、北海道遺産である格子状防風林に象徴される現在の酪農景観が誕生しました。

また、第二次世界大戦後は北方領土におけるロシア（ソ連）との領土問題が生じ、隣接地域として、今日の共同経済活動の議論に至るまで交渉が継続しています。

◆文化

当地域には過去から現在に至る人々の交流や信仰、争いや開拓の歴史を感じることができる数々の文化遺産が現存しています。鉄道の廃線跡や駅通所跡、史跡や教会・神社など背景にある物語とともに歴史を現在へと紡いでいます。また、自然の恵みや先祖を敬う祭りとして、金刀比羅神社例大祭やイチヤルパ（供養祭）、しべつ



かつては交通の要所として使われた、奥行臼駅通所（国指定史跡）

あきあじまつりなども開催されており、代々受け継いでいる先人や自然資源への感謝を大切にしています。

ラムサール条約登録湿地や世界自然遺産の知床など古来から残る風景との共生も開拓の文化とともに共存しています。動植物の鑑賞拠点やネイチャーセンターが多数あり、自然と気軽に触れ合う文化が形成されています。

文化遺産やシーサイド、酪農地帯を歩くことによって満喫するフットパスが広く普及しており、最果ての地だけに残る雄大な自然と歴史・文化をゆったりと感じることができます。

◆水産業

根室海峡沿岸地域は、古代より江戸時代に至るまで先住民族アイヌが自然と共生し、サケを中心とした豊かな水産資源の恵みを授かることで発展を遂げています。流水や親潮・黒潮が生み出す恵みは、花咲ガニやコンブ、カキやウニなど希少性の高い当地域ならではの水産資源を育みます。

先人たちの知恵を受け継ぎ、時には新たな漁法への挑戦を経て、定置網漁や棒受け網漁など沿岸・沖合どちらの漁業も磨かれていき、秋サケやサンマなど当地を代表する水産資源が確立されました。中には、動力船による自然への影響を最小限にする「打瀬舟」を活用したホッカイシマエビ漁のような特殊な技法による漁業も行われています。

豊富なプランクトンや湿原の養分が海水と混ざる汽水湖等の自然環境により育った良質な水産資源を、保存・加工する技術も脈々と受け継がれています。歴史を辿ると、江戸時代には最高品質の鮭を選別し、専用の製造蔵で徹底的に不浄を避けて製造し、徳川将軍家に毎年献上していた西別川産の「献上鮭」がありました。また、現在も乾燥・湿りを何度も繰り返し丹念に磨き上げる羅臼昆布、低温の海水により成熟をコントロールすることで通年出荷を可能とした厚岸のカキ、コンブを活用した良質な飼料による管理を徹底した浜中の養殖ウニなど、国内最高峰の評価を受ける水産ブランドを豊かな原料と優れた加工・保存技術によって生み出しています。



打瀬舟を活用したホッカイシマエビ漁

また、当地では羅臼漁協や歯舞漁協で行われているセリ見学のほか、羅臼町ではコンブのヒレ刈り、標津町ではいくらの製造などの加工体験も充実しており、当地の水産品の魅力は味わうだけではなく、訪れて「体験」することでより深みを感じることができます。

◆酪農業

冷涼な気候と農耕期の短い日照時間、海霧など当地域ならではの特殊な気候から畑作農業への制約が多く、広大な土地を有効活用した酪農業が根付いています。明治・大正時代以降に入植した開拓者は、度重なる冷害に苦しめられながらも不屈の精神で畑作農業から酪農業へ大転換し、当地域の酪農の礎を築きました。やがてパイロットファーム事業(酪農先進地化)や新酪農村建設事業による国策としてインフラ整備、土地や乳牛の導入が進み大規模な酪農地帯へと発展を遂げています。



牧場体験

日本有数の酪農地帯を形成し生乳生産量は全国の約1割を占めます。当地域の乳牛の

主食は牧草であり、牧草を育む土壌からこだわりを持ち、高品質の飼料を生み出すことで、生産量はもとより当地域ならではの質の高い生乳を生産しています。

先進的な技術も数多く導入され、生乳や飼料の分析、酪農家の誇りである乳質を感じることができるチーズ・アイスクリーム等の乳製品への加工、決め細やかな管理から安心・安全の提供が行われています。施設見学や搾乳・乳製品製造などの体験メニューも豊富にあり、水産業と並ぶ基幹産業として広く認知されています。

◆観光

世界自然遺産「知床」羅臼でのシャチやクジラ、ヒグマウォッチング、野付湾でのアザラシウォッチング、根室での海鳥ウォッチングなどさまざまなクルーズがあります。

多様な湿地や湿原では木道やカヌーなどからの動植物観察、根釧台地の自然や産業の景観を楽しむための、各地で整備されているフットパスなどのトレッキングもあります。

また、冬季では、羅臼での流水クルーズや野付半島での氷平線ツアー、



根室フットパス（厚床パス）

オオワシなどのバードウォッチングやスノーシュートレッキングなどもあり、一年を通して、海外からの観光客をも唸らせるほどの大自然と風土美が待ち受けています。

そのほか、標津町のポー川史跡自然公園や根室半島チャシ跡群をはじめ、エリア内にある郷土資料館などを通じて、縄文、続縄文文化からオホーツク文化、トビニタイ文化、そしてアイヌ文化と、本州とは違う時代区分を味わうこともでき、ルート上の車窓からは根釧台地の大規模酪農事業の酪農景観が広がり、近代産業遺産として北海道開拓などのフロンティアスピリットも感じられます。

◆食

当ルートには、遠洋の北洋サケマスやサンマ、タラをはじめ、沿岸での秋サケやウニ、羅臼昆布、棹前昆布が採れ、浅海では、野付湾のホッカイシマエビや厚岸湖・厚岸湾のカキ、風蓮

湖のホッキやアサリなど豊富な海からの恵みがあります。

根釧台地の広大な酪農景観から生み出される生乳やチーズ、ソフトクリーム、そして肉牛やジビエ、湿原の淵では厚岸ウイスキーの蒸留など、大地からの恵みも豊富です。

これらの恵みをその育まれたストーリーと共に味わい尽くすことができます。



全国的にも有名な厚岸のカキと、世界からも注目されている厚岸ウイスキー

2) ルートの課題

◆夏季集中型・通過型観光地

観光客の季節偏在が大きく夏季に集中していることから、通年で安定した誘客が必要です。特に冬季は、バードウォッチングや流水、氷平線など、多くの観光コンテンツがあるにもかかわらず、入込数が少ないことが課題となっていることから、四季折々で楽しめる観光資源の掘り起こしや魅力づくりはもちろんのこと、情報発信や二次交通などで、地域の連携が求められています。

また、宿泊施設のキャパシティが小さいため、観光入込客数に対する宿泊客の割合が全道平均に比べて低く、典型的な通過型の観光地となっていることから、今後は観光の質を高め、観光消費額の高いF I T（海外個人旅行）などをいかに取り込むかが課題となります。

◆認知度の低い観光資源

当ルートは世界自然遺産、5つのラムサール条約登録湿地など、世界が認める自然の宝庫であり、本物の野生と出会え、また、広大な酪農景観、知床半島や国後島の遠望など美しい風景が楽しめる地域となっていますが、情報発信が不足していることから認知度が低く、観光資源があまり知られていません。

◆地域との連携

ルート内のそれぞれの地域で独自に活動が行われることが多く、例えば「広域で統一したガイドブックがない」「一次産業との融合が図られていない」など、地域間や農林水産業など地場産業との連携が十分とは言えず、広域観光として十分に生かされていない状況にあること、また高齢化によるフットパス等の維持・管理の担い手不足を解消していく必要があることなどから、今後は地域との関わりを深め、連携して課題解決に向け取り組むことが求められています。

◆インバウンドの対応

多言語での案内看板やパンフレット、メニュー、レンタカーを利用する外国人旅行者に対しての道路情報のほか、クレジットカード決済、禁煙、洋式トイレ、Wi-Fi など、インバウンドの対応に係る基盤整備が不十分であることから、それらの整備が求められています。

◆環境保全と利用

他に類を見ない自然がこの地域を特徴付けており、環境保全は大命題ですが、今後増加が見込まれる国内外からの観光客を受け入れつつ環境を保全するために、利活用に関するルールづくりが必要です。

また、この自然を守るための教育、ガイドの育成、環境保全や整備に携わる人材の確保といったことも課題となります。

5. 地域資源

◆構成自治体における地域資源

	自然・景観	歴史・文化	食	体験
羅臼町	・世界自然遺産 ・シャチ ・クジラ、イルカ ・ヒグマ ・シマフクロウ ・オオワシ ・流水 ・トド、クラカケアザラシ ・知床峠 ・羅臼湖 ・国後島展望塔 ・羅臼ビジターセンター ・ルサフィールドハウス ・道の駅「知床・らうす」	・オホーツク文化 ・トビニタイ文化 ・羅臼町郷土資料館	・羅臼昆布 ・エゾバフンウニ ・ボタンエビ、ブドウエビ ・ホッケ ・キンキ ・スケソウダラ ・鮭児	・シャチ、クジラ、イルカ ・ウォッチングクルーズ ・ヒグマボートクルーズ ・羅臼漁協セリ見学 ・昆布倉庫見学 ・知床ダイビング ・相泊温泉、セセキ温泉 ・熊の湯
標津町	・標津川・標津湿原 ・川北 ・サケの遡上 ・標津サーモン科学館 ・野付半島	・標津町ポー川史跡自然公園 ・伊茶仁カリカリウス遺跡 ・縄文、続縄文文化 ・擦文、オホーツク文化 ・アイヌ文化 ・クナシリ メナシの戦い ・標津イチャルパ ・標津神社 ・会津藩士の墓 ・旧標津線(川北駅) ・旧根室標津駅転車台跡 ・標津町歴史民俗資料館 ・北方領土館	・サケの文化 ・秋サケ ・鮭節 ・ホタテ	・標津湿原カヌー ・スノーシュートレッキング ・忠類川サーモンフィッシング ・金山スキー場 ・しべつ「海の公園」 ・オートキャンプ場 ・川北温泉
中標津町	・根釧台地の格子状防風林 ・丸山公園 ・開陽台 ・武佐岳 ・標津岳 ・モアン山 ・ミルクロード ・養老の滝 ・クテクンの滝 ・道立ゆめの森公園	・上武佐ハリストス正教会 ・北村邸(旧土田旅館) ・道内初の殖民軌道(築堤・転車台) ・旧標津線(上武佐駅・中継信号機) ・伝成館(旧北海道立根釧農業試験場) ・旧海軍標津第一航空基地(滑走路跡・掩体壕跡・格納庫跡) ・中標津郷土資料館 ・中標津郷土資料館緑ヶ丘分館	・なかしべつ牛乳 ・チーズ ・伯爵じゃがいも ・なかしべつミルクイポーグ	・上武佐フットパス ・ホーストレッキング ・養老牛温泉 ・スノーシュートレッキング ・牧場体験 ・チーズづくり体験
別海町	・野付半島、トドワラ、ナラワラ ・ゴマファザラシ ・オオワシ、タンチョウ ・コクガン、アカアシシギ ・四角い太陽 ・打瀬舟 ・新酪農村展望台 ・野付半島ネイチャーセンター ・道の駅「おだいとう」	・野付通行番屋跡 ・伊能忠敬測量隊 最東端測量の地 ・パイロットファーム ・新酪農村事業 ・旧奥行臼駅通所 ・旧標津線奥行臼駅跡 ・別海村営軌道跡 ・別海町西春別鉄道記念公園 ・加賀家文書館 ・別海町郷土資料館	・ホタテ ・ホッカイシマエビ ・西別鮭 ・ニシン ・ホッキ、アサリ ・ジャンボホタテバーガー ・べつかい牛乳	・旧標津線跡フットパス ・中春別SL散策路 ・西別街道を歩こう会 ・永平線ツアー ・野付湾クルージング ・トドワラ散策路 ・トドワラトラクターバス ・バターづくり体験 ・牧場体験 ・尾岱沼ふれあいキャンプ場 ・別海町ふれあいキャンプ広場 ・潮干狩り ・モール温泉

	自然・景観	歴史・文化	食	体験
根室市	・風蓮湖、春国岱 ・落石岬、三里浜 ・浜松海岸 ・車石 ・エトピリカ、ケイマフリ ・オオワシ、タンチョウ ・ラッコ ・落石岬のサカイツツジ ・ミズナラ風衝林 ・北方原生花園 ・春国岱原生野鳥公園 ・ネイチャーセンター ・道の駅「スワン44ねむろ」	・初田牛20遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物 ・西月ヶ岡遺跡 ・根室半島チャシ跡群 ・根室金刀比羅神社 ・和田屯田兵村被服庫 ・明治公園第1・2・3サイロ ・厚床馬市跡 ・花咲線 ・根室拓殖鉄道 ・根室市歴史と自然の資料館 ・北方館、望郷の家 ・北方四島交流センター 「ニ・ホ・ロ」	・花咲ガニ ・サンマ(水揚げ量日本一) ・トキシラズ ・ホッキ、アサリ ・棹前昆布 ・コマイ ・タコ ・北の勝 ・明郷短角牛 ・エゾシカ	・根室バス ・落石ネイチャークルーズ ・本土最東端パノラマクルーズ ・風蓮湖・温根沼クルーズ ・牧場体験 ・歯舞漁協セリ見学 ・氷下待網漁見学 ・スノーモービルソリ体験 ・築拓キャンプ場
浜中町	・霧多布湿原 ・霧多布岬、アゼチ岬 ・琵琶瀬展望台 ・嶮暮帰島 ・ポロト沼、恵茶人沼 ・火散布沼、藻散布沼 ・オオワシ、タンチョウ ・エゾカンゾウ、ワタスゲ ・霧多布湿原センター ・霧多布湿原ナショナルトラスト	・浜中町営軌道跡 ・モンキー・パンチ	・コンブ ・エゾバフンウニ ・タカナン4.0牛乳 ・小松牛乳 ・チーズ ・浜中ホエイ豚 ・エゾシカ	・霧多布湿原木道散策 ・霧多布湿原カヌー ・無人島探検 ・浜辺で乗馬体験 ・ハンティング ・霧多布温泉 ・霧多布岬キャンプ場
厚岸町	・別寒辺牛湿原、別寒辺牛川 ・厚岸湖、厚岸湾 ・大黒島 ・原生花園あやめヶ原 ・ゼニガタアザラシ ・オオワシ、タンチョウ ・厚岸水鳥観察館 ・北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所(アイカップ自然史博物館) ・道の駅「厚岸グルメパーク」	・国泰寺 ・太田屯田兵 ・厚岸郷土館 ・太田屯田開拓記念館 ・海事記念館	・厚岸産カキ(弁天かき、カキえもん、マルえもん) ・アサリ ・サンマ(大黒さんま) ・シシヤモ ・シラウオ ・厚岸ウイスキー ・あつけし極みるく65 ・厚岸味覚ターミナル・コンキリエ ・夢風舎、花季香	・別寒辺牛湿原カヌー ・潮干狩り ・ワカサギ釣り ・厚岸蒸溜所見学 ・アザラシウォッチング ・冬のネイチャーウォッチング ・ガイド付きサイクリング ・フィッシング(海・湿原) ・ネイパル厚岸 ・筑紫恋キャンプ場
釧路町	・釧路湿原 ・釧路川 ・細岡展望台 ・別保森林公園 ・尻羽岬 ・タンチョウ、クマガイ ・細岡ビジャーズ・ラウンジ	・岩保木水門 ・釧網本線	・仙鳳趾産カキ ・タラ ・コンブ ・毛ガニ ・大根、白カブ ・トウモロコシ ・昆布森漁協「土曜市」 ・地産地消センターロ・バザール	・釧路湿原カヌー ・スノーシュートレッキング ・釧路湿原展望 ・くしろ湿原ノロッコ号 ・SL冬の湿原号 ・達古武オートキャンプ場 ・キトウシ野営場 ・別保公園

◆他の地域に比して独自性を有する、活性化に関する資源

資源名	エリア	地域資源
世界自然遺産 「知床」	羅臼町	シャチ・クジラ・イルカウォッチングクルーズ、ヒグマウォッチングクルーズ 知床岬、流水、羅臼湖トレッキング、温泉
ラムサール条約 登録湿地	別海町	野付半島・野付湾、野付半島ネイチャーセンター、トドワラ木道、観光船
	根室市	風蓮湖・春国岱、春国岱ネイチャーセンター、風蓮湖クルーズ、春国岱木道
	浜中町	霧多布湿原、霧多布湿原ナショナルトラスト、霧多布湿原センター、琵琶瀬展望台 霧多布湿原カヌー
	厚岸町	厚岸湖・別寒辺牛湿原、別寒辺牛湿原カヌー
	釧路町	釧路湿原、釧路湿原カヌー
世界に誇る自然 動・植物	羅臼町	シャチ、マッコウクジラ、シマフクロウ、オオワシ、シレットコスミレ
	標津町	標津湿原、イソツツジ、ヒメシャクナゲ、ツルコケモモ
	中標津町	シマフクロウ、タンチョウ、エゾリンドウ
	別海町	エゾシカの群れ、アザラシ、オオワシ、タンチョウ、コクガン、アカアシシギ、四角い太陽
	根室市	ラッコ、アザラシ、エトビリカ、ケイマフリ、オオワシ、タンチョウ、サカイツツジ、マイヅルソウ、 チシマザクラ、車石
	浜中町	ラッコ、オオワシ、タンチョウ、エゾカンゾウ、ワタスゲ
	厚岸町	ゼニガタアザラシ、オオワシ、タンチョウ、ヒオウギアヤメ、エゾヤマザクラ
	釧路町	クマゲラ、タンチョウ、クシロハナシノブ
歩く速さで感じる風土	羅臼町	知床羅臼フットパス
	標津町	標津線路跡フットパス
	中標津町	上武佐フットパス
	別海町	旧標津線フットパス、中春別SL散策路、西別街道を歩こう会、トドワラ散策路
	根室市	厚床バス、明郷バス、初田牛バス、別当賀バス、おちいし岬バス、浜松バス
	浜中町	ヤチボウズ木道、琵琶瀬木道、奥琵琶瀬木道、仲の浜木道、無人島探検、霧多布岬
	厚岸町	原生花園あやめヶ原、愛冠岬
	釧路町	細岡展望台、夢ヶ丘達古武歩道、別保森林公園、尻羽岬
近代開拓と産業遺産	中標津町	根釧台地の格子状防風林、上武佐ハリストス正教会、北村邸（旧土田旅館）
	別海町	パイロットファーム、新酪農村事業、根釧台地のサイロ、酪農景観
	根室市	和田屯田兵村被服庫、明治公園第1・2・3サイロ、厚床馬市跡、ユルリ・モユルリ島
	浜中町	酪農展望台、酪農景観
	厚岸町	太田屯田兵、厚岸町太田屯田開拓記念館
開拓への礎 鉄道網の発展	標津町	旧標津線、旧川北駅、旧根室標津駅転車台跡
	中標津町	旧標津線（線路跡、中継信号機）、旧上武佐駅、日本初の殖民軌道、 殖民軌道（築堤跡、転車台跡）
	別海町	旧標津線、旧奥行臼駅、別海村営軌道、西春別鉄道記念公園
	根室市	花咲線、旧標津線、根室拓殖鉄道
	浜中町	花咲線、浜中町営軌道跡
	厚岸町	花咲線
	釧路町	釧網本線、花咲線
	羅臼町	エゾバフンウニ、キンキ、羅臼昆布倉庫見学、セリ見学
海と大地からの恵み	標津町	秋サケ定置網漁、鮭文化、ホタテ
	中標津町	なかしべつ牛乳、チーズ、伯爵じゃがいも
	別海町	打瀬舟によるホッカイシマエビ漁、西別献上鮭、ホタテ漁、べつかい牛乳
	根室市	花咲ガニ、ホッキ・アサリ手掘り漁、氷下待網漁、サンマ、北洋サケマス、樟前昆布 落石ネイチャークルーズ、風蓮湖・温根沼クルーズ、明郷短角牛
	浜中町	タカナシ4.0牛乳、ハーゲンダッツ、チーズ、一斉出漁の昆布漁、ウニ割体験 エゾシカ、ハンティング
	厚岸町	シングルシード方式のカキ、日本で唯一年間を通して食べられるカキ 厚岸ウイスキー、あつけし極みるく65、別寒辺牛湿原フィッシング
	釧路町	仙鳳趾産カキ、モガニ、昆布干場
	標津町	北方領土館、川北海軍航空基地跡
まだ終わらない戦後 北方領土	中標津町	旧海軍標津第一航空基地跡、掩体壕跡、格納庫跡
	別海町	別海北方展望塔
	根室市	納沙布岬、北方館、北方四島交流センター「ニホロ」 旧牧の内飛行場跡、トーチカ跡、掩体壕跡
	羅臼町	トビニタイ文化、羅臼町郷土資料館
一万年の歴史の流れを 感じる	標津町	標津町ボー川史跡自然公園、伊茶仁カリカリウス遺跡 アイヌ文化、クナシリメナシの戦い、標津イチャルバ、会津藩士の墓
	別海町	野付通行屋遺跡、別海町加賀家文書館
	根室市	初田牛土偶、オホーツク文化、根室半島チャシ跡群、根室市歴史と自然の資料館
	厚岸町	お供山チャシ跡群、国泰寺跡、厚岸町郷土館

第2章 ルートの名称と活動の方向性

1. ルートの名称とテーマ

■ルートの名称

知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ Far East Hokkaido Scenic Byway

根室地域を表す「知床ねむろ」と釧路地域3町を象徴する「北太平洋シーサイドライン」を合わせたルート名称。英語名は「北海道の東の果ての美しい道」を端的に表現しました。

■ルートのテーマ

～ 世界中のトラベラーを癒やす、
最果ての自然と美食の絶景海道 ～

■テーマの意味

《世界自然遺産と5つのラムサール条約登録湿地》

最果ての地に凝縮された、世界が認めた他に類を見ない自然。世界中のバードウォッチャーが憧れるバードウォッチングの聖地。7種類もの鯨類が大挙するホエールパラダイス。ヒグマは世界有数の生息密度を誇ります。

《特有の地理的条件や気候が育む、古代より受け継がれてきた美食》

流氷や親潮・黒潮、多様な湿地が育む類い希なる水産資源を、先人の知恵や技術を受け継ぎながら、国内最高峰の評価を受けるまでに発展させた海の幸や、不屈の精神で開拓し、日本有数の酪農地帯となった根釧台地から生まれる質の高い乳製品は、世界的美食家をも魅了します。

《総延長100kmにおよぶ「歩く道」》

広い空。美味しい空気。田んぼも畑もない世界。広々した海岸線、根釧台地と多様な湿地が作り出す牧草地や湿原にフットパスや散策路、木道など「歩く道」が整備されており、そこをのんびりと歩けば、極上の「癒やし」が得られること間違いありません。

《根釧台地の開拓者魂と近代遺産》

古来より共生してきたありのまま残る原風景に、先住民や開拓者による知恵と魂を受け継ぐ（語り継ぐ）ことのできる遺産や物語が共存する最果ての地。鉄道の廃線跡や史跡を巡り、今日に至る物語とともに五感で感じることで、訪れた人を特別な空間へと誘います。

■ルートの基本方針

「知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ」は日本本土の最も東に位置しており、北方領土を望むことができる唯一のルートです。本土最東端、納沙布岬を目指す国道44号、海の向こうに北方領土・国後島を望みながら世界自然遺産知床に至る国道244号や335号、圧倒的なスケールの酪農地帯を駆け抜ける国道272号や243号、道道813号、起伏に富み、断崖あり砂浜ありの変化に富んだ海岸線、ところどころに出現する湿原や湖沼、岬など、絶景が連続する日本屈指の絶景海道、北太平洋シーサイドラインのハイライトである道道123号、142号など、類い希なる魅力的な道がトラベラーの心を躍らせます。

また、ルート内にはフットパス、散策路や木道、鉄道の廃線跡や史跡など、自然や歴史を五感で楽しめる「歩く道」があり、車を降りて歩くことでさらに自然を満喫したり、歴史に思いを馳せることができます。

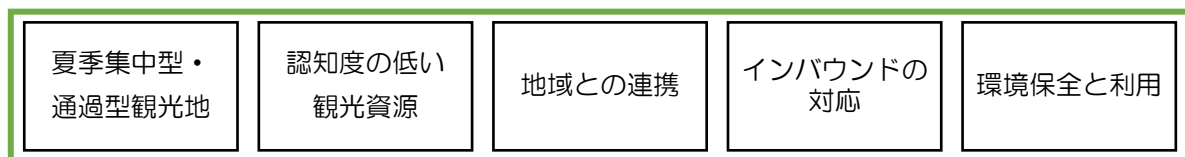
当ルートは、この恵まれた資源を生かしながら課題を解決するために、地域と連携しながら、観光資源の保全と利用を推進し、絶景ドライブはもちろん、バードウォッチングやアニマルウォッチング、植物観察や自然散策、写真撮影、廃線跡巡りや蒸溜所見学、フィッシングやハンティングなど、目的を持って当地を訪れるような、自分なりの価値観を持つ世界のトラベラーが満足し、何度も繰り返し訪れていただけるような「質の向上」を目指します。



北太平洋シーサイドラインのハイライトのひとつ、日本屈指の鉄道絶景としても知られる落石海岸

2. ルート活動の方向性

■ ルートの課題

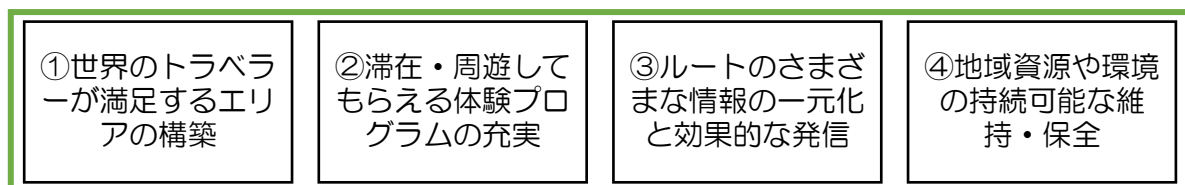


■ ルートの基本方針

当ルートの課題を解決するために、地域と連携しながら、当地が有する恵まれた観光資源の保全と利用を推進し、世界のトラベラーが満足し、何度も繰り返し訪れていただけるような「質の向上」を目指す。



■ 4つの活動方針

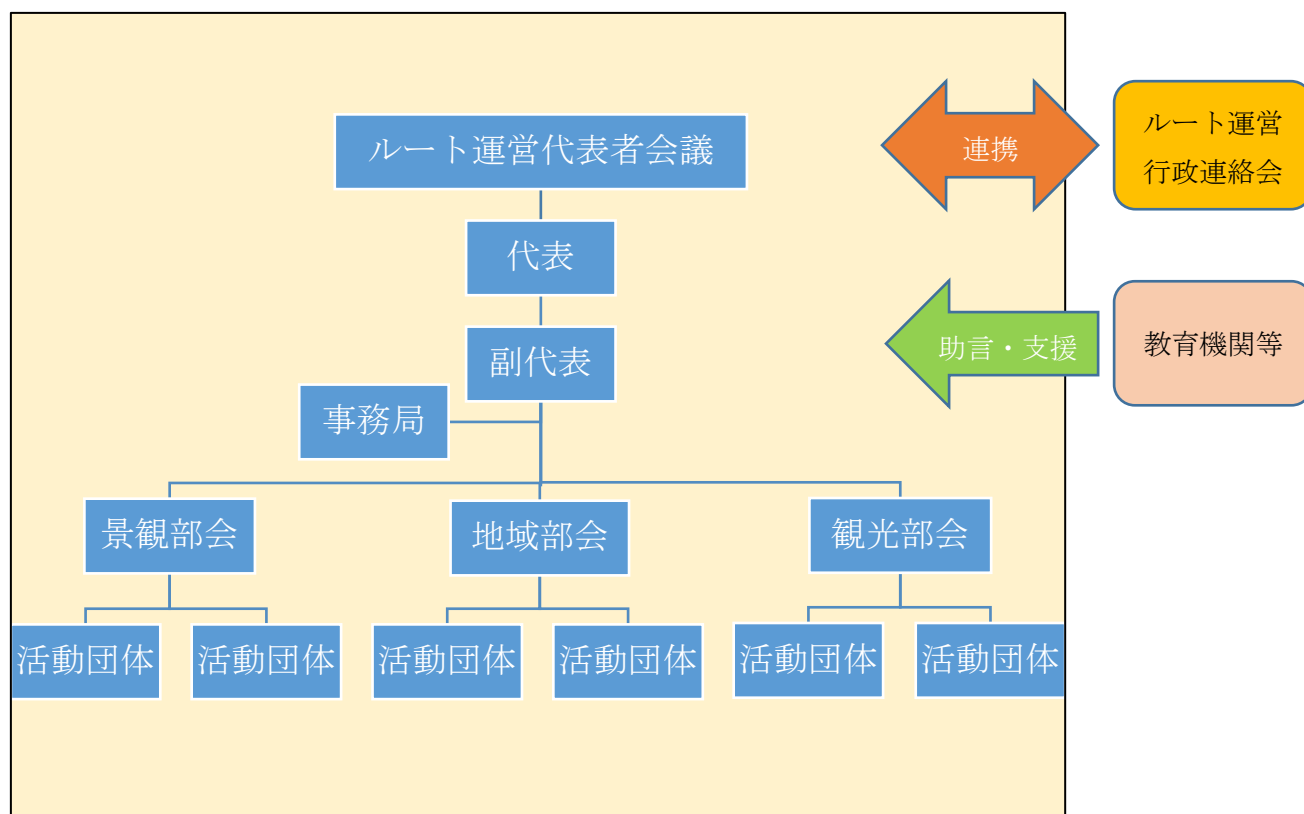


■ 活動分類別の活動内容

	活動内容	活動方針
美しい 景観づくり	景観資源の調査	①②
	フットパスの整備	①④
	ラムサール条約登録湿地での環境保全活動	①④
	観光スポットや沿道などでの清掃活動	④
活力ある 地域づくり	地域づくりのためのセミナーの開催	①②④
	アウトドア勉強会の開催	①②④
	その他の活動団体と連携した情報共有	③
	道の駅と連携した地域づくり	①②③
魅力ある 観光空間 づくり	エッジの効いた素材の観光商品への磨き上げ	①②
	インバウンド向けの観光情報の整理、発信	①③
	情報の一元化に向けた情報収集、整理、発信	③
	ルート内資源で連携したツアー、イベントの開催	②
	冬の観光メニューの調査・開発	①②

第3章 ルートの運営体制

1. ルート活動体制



代表	大地みらい信用金庫 理事長 遠藤 修一
副代表	酪農家集団 AB-MOB I T 代表 馬場 晶一
事務局	(有) 伊藤畜産 代表取締役 伊藤 泰通
ルート運営代表者会議	羅臼町、標津町、中標津町、別海町、根室市、浜中町、厚岸町、釧路町の各地域における活動団体により構成し、活動状況及び情報の共有を図る
景観部会	美しい景観づくりのための活動を行う 部会長：(有) 伊藤畜産 代表取締役 伊藤 泰通
地域部会	活力ある地域づくりのための活動を行う 部会長：(株) 厚岸味覚ターミナル 副支配人 荻原 俊和
観光部会	魅力ある観光空間づくりのための活動を行う 部会長：根室市観光協会 事務局員 有田 茂生
活動団体	各部会への参画や地域等との連携を行う

2. ルートの活動団体

◆活動団体一覧

	市町名	団体名	代表者	
			役職	氏名
1	羅臼町	知床羅臼フットパスクラブ	代 表	高島 譲二
2	羅臼町	(一社) 知床羅臼町観光協会	事務局長	若林 育代
3	標津町	標津町観光ガイド協会	代 表	井南 進
4	標津町	標津転車台保存会	会 長	篠田 静男
5	中標津町	なかしべつ体験観光ネットワーク	代 表	瀬波 秀人
6	別海町	別海町グリーンツーリズムネットワーク	事務局長	押田 栄司
7	別海町	西別街道を歩こう会	代 表	斉藤 章
8	別海町	中春別SL散策路	代 表	川本 寅一
9	別海町	野付半島ネイチャーセンター	センター長	藤井 薫
10	根室市	酪農家集団 AB-MOB I T	代 表	馬場 晶一
11	根室市	(有) 伊藤畜産	代表取締役	伊藤 泰通
12	根室市	落石マリンビジョン協議会	代 表	上野 陽三
13	根室市	根室交通 (株)	業務次長	黒田 啓一
14	根室市	大地みらい信用金庫	理事長	遠藤 修一
15	根室市	根室市観光協会	会 長	小林 茂
16	根室市	春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター	館 長	浦崎 文敏
17	浜中町	(株) アウトドアアシスト岩松	代表取締役	岩松 邦英
18	浜中町	あしやんカヌー	代 表	芦田 政雄
19	浜中町	NPO 法人霧多布湿原ナショナルトラスト	理事長	三膳 時子
20	厚岸町	(株) 厚岸味覚ターミナル	取締役支配人	加藤 裕之
21	釧路町	釧路町観光協会	会 長	橋口 春樹
22	釧路町	釧路衛星 (株)	代表取締役	斎藤 剛史
23	釧路町	(株) 釧路マーシュ&リバー	代表取締役	斉藤 松雄
24	釧路市	釧路臨港鉄道の会	会 長	星 匠

◆活動団体概要

1	活動団体	知床羅臼フットパスクラブ	活動分類		
	活動概要	・知床羅臼フットパスの整備 ・フットパス・ロングトレイル広域化検討会への参画	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	羅臼町	●	●	●
2	活動団体	(一社) 知床羅臼町観光協会	活動分類		
	活動概要	・観光客誘致を図るための観光宣伝、情報発信、プロモーション、招聘など ・観光客への観光案内、情報提供 ・観光関係者の資質及び技術向上のための研修 ・観光土産品の開発・紹介・宣伝・販売 ・観光イベントの開催、各団体等へのイベント活動の支援 ・観光資源の保全・開発及び知床エコツアーの推進 ・旅行業務の取り扱い ・フットパス・ロングトレイル広域化検討会への参画	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	羅臼町	●	●	●
3	活動団体	標津町観光ガイド協会	活動分類		
	活動概要	・観光ガイドの派遣、育成 ・標津線路跡フットパスの整備 ・観光イベントの開催 ・フットパスツアーの開催 ・フットパス・ロングトレイル広域化検討会への参画	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	標津町	●	●	●
4	活動団体	標津転車台保存会	活動分類		
	活動概要	・標津町に残る鉄道遺産（転車台やSL、ディーゼルカーなど）の保存・活用 ・町内外の鉄道遺産、産業遺産との連携 ・標津転車台祭りの開催 ・標津転車台跡SLイルミネーション ・フットパスと連携したツアーの開催 ・フットパス・ロングトレイル広域化検討会への参画	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	標津町		●	●
5	活動団体	なかしべつ体験観光ネットワーク	活動分類		
	活動概要	・上武佐フットパスの整備 ・体験観光企画の開催、情報交換 ・フットパスツアーの開催 ・上武佐駅跡の保全	景 観	地 域	観 光
			●	●	●

		・フットパス・ロングトレイル広域化検討会への参画			
	活動範囲	中標津町			
6	活動団体	別海町グリーンツーリズムネットワーク	活動分類		
	活動概要	・グリーンツーリズムの普及・推進 ・旧標津線跡フットパスの整備 ・釧路公立大学と連携したフットパス整備作業 ・阿部さん宅コマクサ鑑賞 ・奥行臼散策デーの開催 ・フットパスツアーの開催 ・フットパス・ロングトレイル広域化検討会への参画	景 観	地 域	観 光
			●	●	●
	活動範囲	別海町			
7	活動団体	西別街道を歩こう会	活動分類		
	活動概要	・西別街道フットパスの整備 ・フットパス・ロングトレイル広域化検討会への参画	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	別海町	●	●	
8	活動団体	中春別S L 散策路	活動分類		
	活動概要	・中春別S L 散策路の整備 ・フットパス・ロングトレイル広域化検討会への参画	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	別海町	●	●	
9	活動団体	野付半島ネイチャーセンター	活動分類		
	活動概要	・野付半島・野付湾ラムサール条約登録記念イベントの開催 ・初日の出鑑賞会 in 野付半島ネイチャーセンターの開催 ・各種ツアーの開催（野付半島ガイドツアー、氷平線ツアーなど）	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	別海町、標津町	●	●	●
10	活動団体	酪農家集団 A B - M O B I T	活動分類		
	活動概要	・農村・観光振興を目的としたフットパスの整備・普及 ・根室フットパス4ルート （厚床パス，初田牛パス，別当賀パス，明郷パス）の整備 ・落石シーサイドウェイ2ルート （浜松パス，おちいし岬パス）の整備協力 ・専修大学と連携したフットパス整備作業 ・フットパスツアーの開催 ・フットパス・ロングトレイル広域化検討会への参画	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	根室市	●	●	●
11	活動団体	（有）伊藤畜産	活動分類		
	活動概要	・体験牧場の企画、運営	景	地	観

		・地元の食材を活用したレストランやショップの運営 ・フットパス・ロングトレイル広域化検討会への参画	観	域	光
	活動範囲	根室市	●	●	●
12	活動団体	落石マリンビジョン協議会	活動分類		
	活動概要	・フットパス落石シーサイドウェイ2ルート (浜松パス, おちいし岬パス)の整備 ・おちいしフットパス大会の開催 ・海岸の清掃活動 ・おちいし・あじまつりの開催 ・落石ネイチャークルーズの運営 ・フットパス・ロングトレイル広域化検討会への参画	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	根室市	●	●	●
	活動範囲	根室市			
13	活動団体	根室交通(株)	活動分類		
	活動概要	・花咲線&フットパス連携イベントの実施・運営 ・旅行業務の取り扱い ・根室半島遊覧観光バス「のさっぷ号」の運行 ・フットパス・ロングトレイル広域化検討会への参画	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	根室～釧路地域、他		●	●
	活動範囲	根室～釧路地域、他			
14	活動団体	大地みらい信用金庫	活動分類		
	活動概要	・根室市内の海岸清掃 ・根室市内花壇整備事業(花いっぱいロード作戦) ・植樹活動への参加 ・ふるさとポケットガイドの発行 ・フットパス・ロングトレイル広域化検討会への参画	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	根室～釧路地域、他	●	●	●
	活動範囲	根室～釧路地域、他			
15	活動団体	根室市観光協会	活動分類		
	活動概要	・観光客誘致を図るための観光宣伝、情報発信、プロモーション、 招聘など ・観光客への観光案内、情報提供 ・観光関係者の資質及び技術向上のための研修 ・観光土産品の開発・紹介・宣伝・販売 ・観光イベントの開催、各団体等へのイベント活動の支援 ・観光資源の保全・開発 ・市内観光地等での清掃活動 ・フォトコンテストの実施 ・フットパスツアーの開催 ・フットパス・ロングトレイル広域化検討会への参画	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	根室市	●	●	●
	活動範囲	根室市			

16	活動団体	春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター	活動分類		
	活動概要	・春国岱の自然環境保全と環境教育的活用 ・春国岱及び周辺地域の自然環境の調査 ・「春国岱・風蓮湖」の魅力を伝えるイベントの開催 ・自然散策路の整備 ・春国岱清掃活動	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	根室市	●	●	●
17	活動団体	(株) アウトドアアシスト岩松	活動分類		
	活動概要	・エゾシカ肉及び加工品の販売 ・エゾシカ猟ガイド	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	浜中町			●
18	活動団体	あしやんカヌー	活動分類		
	活動概要	・霧多布湿原カヌーツアーの催行 ・別寒辺牛湿原カヌーツアーの催行 ・ケンボッキ島カヌーツアーの催行	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	浜中町、厚岸町	●		●
19	活動団体	NPO 法人霧多布湿原ナショナルトラスト	活動分類		
	活動概要	・霧多布湿原の自然環境保全と環境教育的活用 ・霧多布湿原及び周辺地域の自然環境の調査 ・霧多布湿原の情報発信 ・霧多布湿原木道の整備 ・エコツアーの開催	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	浜中町	●	●	●
20	活動団体	(株) 厚岸味覚ターミナル	活動分類		
	活動概要	・農産物、畜産物、林産物、水産物の加工研究及び製造、販売 ・飲食店の経営並びに飲食料品、日用雑貨及び観光土産品の販売 ・食文化研究 ・観光イベントの企画運営 ・道の駅清掃活動	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	厚岸町	●	●	●
21	活動団体	釧路町観光協会	活動分類		
	活動概要	・観光客誘致を図るための観光宣伝、情報発信、プロモーション、招聘など ・観光案内、情報提供 ・観光イベントの開催	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	釧路町	●	●	●
22	活動団体	釧路衛星 (株)	活動分類		

	活動概要	・観光・貸切バスの運行 ・旅行業務の取り扱い	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	根室～釧路地域、他			●
23	活動団体	(株) 釧路マーシュ&リバー	活動分類		
	活動概要	・釧路湿原カヌーツアーの催行 ・釧路湿原スノーシュートレッキングの催行	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	釧路町	●	●	●
24	活動団体	釧路臨港鉄道の会	活動分類		
	活動概要	・公開鉄道模型運転会 ・鉄道に関するツアーガイド ・鉄道資料の調査 ・臨時列車の企画など鉄道利用促進活動 ・全国の鉄道愛好家との交流会 ・フットパス・ロングトレイル広域化検討会への参画	景 観	地 域	観 光
	活動範囲	根室～釧路地域、他		●	●

第4章 ルートの活動計画（案）

1. これまでの活動経過

2015年より根室地域において、フットパスの活動団体や行政などが連携し、フットパスの整備と普及を中心に取り組んできましたが、更なる連携や地域活性化を模索する中、釧路地域3町との連携について合意したことなどから、シーニックバイウェイ北海道のルート立ち上げに向け、2018年6月にルート運営代表者会議（キックオフ）を開催し、以降複数回のルート運営代表者会議及びワーキンググループ会議等により、情報共有や申請に向けた準備作業を進めてまいりました。

また10月には、シーニックバイウェイ北海道のルート立ち上げに向けた取り組みの一環として、フットパスの関連イベント「わくわく花咲く！ふれあいレールフェス2018」を開催しました。

年	月	活動内容	実施内容
2015 年	9 月	根室フットパス新路線整備	行政、大学連携によるコース整備
	9 月	フットパス・ロングトレイル広域化検討会準備会議	現状報告と課題整理
	11 月	第1回フットパス・ロングトレイル広域化検討会	意見交換、今後の取組
2016 年	6 月	講演会：フットパスの法的責任	講師：龍谷大学 鈴木教授
	9 月	フットパス開催とバス使用の社会実験	大学連携によるフットパス開設
	10 月	旧標津線フットパス	地域連携によるイベント
2017 年	1 月	第2回フットパス・ロングトレイル広域化検討会	活動報告、今後の活動
	2 月	第3回フットパス・ロングトレイル広域化検討会	旧標津線全通 80 周年記念イベント検討
	3 月	第4回フットパス・ロングトレイル広域化検討会	旧標津線全通 80 周年記念イベント検討
	5 月	第5回フットパス・ロングトレイル広域化検討会	旧標津線全通 80 周年記念イベント検討
	7 月	第6回フットパス・ロングトレイル広域化検討会	旧標津線全通 80 周年記念イベント検討
	8 月	おちいし岬フットパス大会	地域連携によるイベント
	10 月	旧標津線全通 80 周年記念フットパスツアー	地域連携によるイベント
	11 月	第7回フットパス・ロングトレイル広域化検討会	ツアー検証、マップ作成検討
	11 月	SBW 勉強会	SBW 取組説明、意見交換
	12 月	フットパスマップ発行	根室管内のフットパスを網羅
2018 年	1 月	セミナー：イギリスにおけるフットパス運動	講師：龍谷大学 鈴木教授
	3 月	第8回フットパス・ロングトレイル広域化検討会	SBW 取組説明、事務局設置、釧路3町合意
	4 月	道の駅クリーンアップ大作戦（春）	清掃活動
	5 月	SBW 参加団体説明会	SBW ルート申請に向けて
	5 月	第9回フットパス・ロングトレイル広域化検討会	今年度取組
	5 月	旧標津線フットパス整備	フットパス整備作業
	5 月	春の根室市市一斉清掃 北方原生花園周辺清掃	清掃活動
	6 月	SBW ルート運営代表者会議（キックオフ）	運営体制、骨子作成について
	6 月	第10回フットパス・ロングトレイル広域化検討会	フットパスイベント検討

年	月	活動内容	実施内容
2018 年	8 月	おちいし岬フットパス大会	地域連携によるイベント
	8 月	花咲線に乗って落石の絶景見どころツアー	地域連携によるイベント
	9 月	SBW ルート運営代表者会議	ルート名称、テーマ、方針について
	9 月	第 10 回フットパス・ロングトレイル広域化検討会	フットパスイベント、セミナー検討
	9 月	根室フットパス整備	フットパス整備作業
	10 月	わくわく花咲く！ふれあいレールフェス 2018	地域連携によるイベント
	10 月	ワーキンググループ会議	活動内容等検討
	10 月	春国岱清掃活動	清掃活動
	10 月	道の駅クリーンアップ大作戦（秋）	清掃活動
	11 月	セミナー：行政・民間が連携した美瑛町の取組	講師：美瑛町観光協会 中山会長
	11 月	ワーキンググループ会議	活動内容等検討
	11 月	霧多布湿原木道整備	木道整備作業
	12 月	SBW ルート運営代表者会議	ルート運営活動計画骨子（案）検討
2019 年	1 月	SBW ルート運営代表者会議	ルート運営活動計画骨子（案）検討
	2 月	SBW ルート運営代表者会議	ルート運営活動計画骨子決定



ルート運営代表者会議



ワーキンググループ会議



フットパスセミナー

わくわく花咲く！ふれあいレールフェス2018

2. 今後の活動予定 (案)

	活動内容	2019年												2020年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
美しい 景観づくり	景観資源の調査			●			●		●			●			●	
	フットパスの整備		●	●			●									
	ラムサール条約登録湿地での環境保全活動							●	●		●					
	観光スポットや沿道などでの清掃活動	●	●					●								
活カある 地域づくり	地域づくりのためのセミナーの開催								●							
	アウトドア勉強会の開催								●							
	その他の活動団体と連携した情報共有						●									
	道の駅と連携した地域づくり	●						●					●			
	エッジの効いた素材の観光商品への磨き上げ			●			●			●						
魅力ある 観光空間 づくり	インバウンド向けの観光情報の整理、発信			●			●									
	情報の一元化に向けた情報収集、整理、発信			●			●									
	ルート内資源で連携したツアー、イベントの開催	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	冬の観光メニューの調査・開発										●	●				
会議等	ルート運営代表者会議			●			●		●							
	部会(景観・地域・観光)・ワーキンググループ等			●			●		●							
	ルート指定に向けた申請書の作成等		●					●			●	●	●			●

シーニックバイウェイ北海道推進協議会
会長 岩田 圭剛 殿

シーニックバイウェイ北海道 ルート審査委員会

委員長 小林 英嗣

ルート審査委員会 意見

■シーニックバイウェイ候補ルート

◆候補ルート全体に対する意見

ルート活動に参加するあらゆる団体・個人が、シーニックバイウェイについて理解を深めるとともに、引き続き、ルートとしての理念・目標・活動指針の明確化とその共有化を図ること。

また、各ルートで共有化された理念・目標・活動指針の達成に向けて、各地・各種の人や地域資源に関するマネジメント方針を明確化し、その方針に基づき、各ルート活動団体の運営体制の強化や、人材発掘・育成、地域資源の発掘・活用などの取り組みを引き続き進めること。

さらに、ルート活動団体が中心となり、地域住民、各種団体、行政、地域産業など様々な主体を含めた幅広い連携・協働のあり方を検討し、それらの主体との連携・協働に基づく取組を推進していくこと。

◆知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイに対する意見

このルートほど「日本離れした独特な景観」という言葉が似つかわしい地域は無いと思われるほど、世界と比較しても優れた景観資源で、群を抜いている。グリーンツーリズムなどのように、そのままツーリズムに直結する景観資源であり、極めて高い優位性がある。

なお、ルートのエリアが長大かつ広大であることから、「サブ・ルート」、「サブ・リージョン」を意識した実装化を進めることにより、「見えるルート」への歩みを進めることを期待する。また、地域の魅力向上に向けた取り組みについては、観光協会だけでなく、地域住民等や行政の部門と一体となって活動を進めることが必要である。

さらに、活動の推進にあたっては、「SDGs と結び付けた活動」、「観光MaaSの取組との連携・協働」、「歴史・文化・産業・食を組み合わせたレクリエーションの創造」、「現在の体験メニューの磨き上げと独自性を訴求したツアー造成」などをテーマとし、ルート活動としての独自・新規の取り組みを進め、極めて高い優位性のある景観資源・地域資源をさらに磨きをかけ、魅力的な地域づくりをさらに進めることが望まれる。

令和元年 7 月 27 日

ルート審査委員会

ルート審査委員会の審査結果

(1) シーニックバイウェイ候補ルート（知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ）

表 1－1 【審査結果】

視 点 委員	優れた景観資源の有無および 地域資源の優位性について					景観及び地域資源について	推薦 可否
	景観	自然	文化	歴史	レク		
A	○	○	-	-	-	①「生成り」の大景観（光景）が四季を通じて、身近に存在し、日本では稀な時空を体感可能である。ただし、この稀な大景観を「守り・育て」、世界に評価され続けるブランド価値にする、戦略的で入念な努力が不可欠。 ②海洋、湿原、牧場、原野など、稀有な資源を五感で体感することができる「フットパス、ロングトレイル」などの資源活用活動が少しずつ芽生えてきていることを注視したい。	○
B	○	○	○	-	○	①景観資源は群を抜いており、グリーンツーリズムなどのようにそのままツーリズムに直結する景観資源であり、価値が高い。 ②文化・レクリエーションも、開拓以来の文化やそれをはるかに凌駕するオホーツク文化の存在など素材は魅力的である。 ③総じて、素材・資源をまだ活用しきれていないという印象。	○
C	○	○	○	○	○	①このルートほど「日本離れした独特な景観」という言葉が似つかわしい地域は無いと思われるほど、世界と比較しても優れた景観資源で、極めて高い優位性が確認される。	○
D	○	○	○	○	-	①歴史、文化、産業遺産や食といった資源の活用と PR が更に必要と思われる。 ②観光については、豊富な体験メニューの周知が必要であり、情報発信の方法、告知の仕方などに工夫が必要。	○
E	○	○	-	○	○	①羅臼町から、野付半島、根室半島、厚岸にいたる海岸景観は他に例を見ないもので、大変貴重な景観資源であり、中標津に代表される雄大な内陸部の景観も他にはない優位性がある。 ②多様なフットパス、ロングトレイルルートはレクリエーションの観点から優れたものと考えられる。	○

表 1－2 【付帯意見】

- ・ SDGs と結び付けた活動を進めるとともに、公・共・民の絶え間ない話し合いと合意形成が重要であり、そして表面上の同意をさらに深め、地域合意の実現化を期待。
- ・ 長大・広大なルートであることから、「サブ・ルート」、「サブ・リージョン」を意識し、実装化を進め、「見えるルート」への歩みを期待。
- ・ 2 次・3 次交通への配慮・工夫が不足。道東エリアで進めている観光 M a a S の取組との連携・協働について検討することを提案。
- ・ 景観については申し分なし、観光空間づくりは現在の体験メニューの磨き上げと独自性を訴求したツアー造成が望まれる。
- ・ 地域の魅力向上の取り組みについては、観光協会だけではなく、地域住民等と行政の部門とも一体となって活動を進めることを期待。
- ・ 歴史・文化・産業・食を組み合わせたレクリエーションの創造に期待。
- ・ 北方領土の拠点という他地域にはない特性は今後とも重要性を増してくると思われるので、この点からも魅力的な地域づくりが望まれる。

令和元年 9 月 20 日
シーニックバイウェイ北海道推進協議会

シーニックバイウェイ候補ルートの登録について（案）

○シーニックバイウェイ北海道推進の基本方針に基づき、シーニックバイウェイ北海道実施要綱第 18 条第一項及び第二項の規定により、次のとおりシーニックバイウェイ候補ルートの登録を行う。

ル ー ト 名：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ

関係市町村：羅臼町、標津町、中標津町、別海町、根室市、浜中町、厚岸町、釧路町
（8 市町村）

提 案 者：知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議

なお、上記登録を行うにあたって、別紙の通り意見を付記する。

シーニックバイウェイ北海道推進協議会 意見（案）

■シーニックバイウェイ候補ルート

◆候補ルート全体に対する意見

ルート活動に参加するあらゆる団体・個人が、シーニックバイウェイについて理解を深めるとともに、引き続き、ルートとしての理念・目標・活動指針の明確化とその共有化を図ること。

また、各ルートで共有化された理念・目標・活動指針の達成に向けて、各地・各種の人や地域資源に関するマネジメント方針を明確化し、その方針に基づき、各ルート活動団体の運営体制の強化や、人材発掘・育成、地域資源の発掘・活用などの取り組みを引き続き進めること。

さらに、ルート活動団体が中心となり、地域住民、各種団体、行政、地域産業など様々な主体を含めた幅広い連携・協働のあり方を検討し、それらの主体との連携・協働に基づく取組を推進していくこと。

◆知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイに対する意見

このルートほど「日本離れした独特な景観」という言葉が似つかわしい地域は無いと思われるほど、世界と比較しても優れた景観資源で、群を抜いている。グリーンツーリズムなどのように、そのままツーリズムに直結する景観資源であり、極めて高い優位性がある。

なお、ルートのエリアが長大かつ広大であることから、「サブ・ルート」、「サブ・リージョン」を意識した実装化を進めることにより、「見えるルート」への歩みを進めることを期待する。また、地域の魅力向上に向けた取り組みについては、観光協会だけではなく、地域住民等や行政の部門と一体となって活動を進めることが必要である。

さらに、活動の推進にあたっては、「SDGs と結び付けた活動」、「観光M a a S の取組との連携・協働」、「歴史・文化・産業・食を組み合わせたレクリエーションの創造」、「現在の体験メニューの磨き上げと独自性を訴求したツアー造成」などをテーマとし、ルート活動としての独自・新規の取り組みを進め、極めて高い優位性のある景観資源・地域資源をさらに磨きをかけ、魅力的な地域づくりをさらに進めることが望まれる。